

TASHIRO

NEWS LETTER 103

発行 田代稚恵美ピアノ教室

今年も暑い夏でしたね！みなさま、如何お過ごしでしたでしょうか？

この夏も、教室から各種コンクールに参加し、暑い夏の熱い闘いを乗り切った子達がおります。

まず、第41回ピティナピアノコンペティションが 8/22 のホテルニューオオタニでの表彰式をもちまして幕を閉じました。過去最高の43,935組が参加したそうです。うちの教室からは5名、大賀智水（年長）がA2級（就学前の部）、沼田若菜（小3）、有永音羽（小4）がB級（小4までの部）、北川愛梨（小6）がC級（小6までの部）、稲垣光希（中2）がD級（中2までの部）を受けました。

その他、石川国際コンクールに石井美有（小6）、ちば音楽コンクールに坂本百合彩（小3）が参加しました。（敬称略）

全国決勝大会

銀 賞

有永 音羽（B 級）

指導者賞

田代稚恵美

第41回 ピティナピアノ コンペティション 2017

子どもたちが何かに挑戦しようとするとき、一番身近にいるお母様やご家族の協力なくして事は為せません。ママたちが子どもたちに寄り添い、時に叱り、時に励まし、時に共に泣きながら、どういう状況においても逃げず、真正面を向いて、力の限りピアノと向き合う姿は胸を打ちました！

子どもたちはもちろんのこと、ママたちの奮戦ぶりも大いに讃えられるものと感じました。毎年のコンペを通じて、私は、子どもたちともママたちともかけがえのない「同志」ともいえる絆が育っているのを感じます。

本選

本選1位

有永 音羽（8/8 東日本千葉2本選 B 級）

本選優秀賞

有永 音羽（8/3 東日本茨城本選 B 級）

大賀 智水（8/4 東日本千葉1本選 A2 級）

沼田 若菜（8/6 東日本埼玉2本選 B 級）

北川 愛梨（8/7 東日本埼玉2本選 C 級）

教育楽器販売賞

本選奨励賞

北川 愛梨（8/4 東日本茨城本選 C 級）

大賀 智水（8/7 東日本埼玉2本選 A2 級）

表彰式
田代 有永音羽 音羽ママ



全国決勝大会 B 級
応援；
石井美有とママ
北川愛梨とママ
沼田若菜とママ

ホールレッスン 8/17



ホールレッスン 7/27



ホールレッスン 7/27



全国決勝大会 B 級
よみうり大手町ホール

予選

予選優秀賞（全員予選通過）

大賀 智水（6/17 船橋3 ）

大賀 智水（6/24 さいたま南）

ミリオン楽器賞

北川 愛梨（7/1 龍ヶ崎 ）

有永 音羽（7/2 龍ヶ崎 ）

沼田 若菜（7/2 浦和 ）

柏屋 楽器賞

北川 愛梨（7/9 越谷南 ）

稲垣 光希（7/16 つくば ）

有永 音羽（7/23 船橋4 ）

検定

検定優秀賞

大賀 智水（5/20 市川 ）

有永 音羽（5/27 船橋1 ）

大賀 智水（6/3 船橋2 ）

沼田 若菜（6/3 船橋2 ）

北川 愛梨（6/3 船橋2 ）

有永 音羽（6/11 柏前期 ）

北川 愛梨（6/11 柏前期 ）

沼田 若菜（6/17 船橋3 ）

北川 愛梨（6/18 ひたちなか）

稲垣 光希（7/2 浦和 ）

沼田 若菜（7/24 柏後期 ）

有永 音羽（7/24 柏後期 ）



大賀智水ちゃん

大賀智水ちゃん（年長）は2回目の参加。コンペの意味もよくわからない様子だった昨年とは違い、一步一步確かな歩みで踏み出しているのを感じました。とはいえ、まだ幼稚園児。集中力も続かなかつたり、ある程度のところで曲の完成度に満足をしてしまっていることもありましたが、私とゆっくりお話をしたり、時には迫力で迫ったりしながら（苦笑）、智ちゃんがまだまだ出来ることがあること、もっと曲にも磨きをかけられることを伝えていきました。途中で、お母様から「この子にはピアノは向いてないのでは？」という弱気な問いかけがなされることもありましたが、私は、向いているかどうかは一つのことをしっかり成し遂げてから考えればいいこと！道の途中のその問いかけは「逃げ」になる、と考えています。お母様も小さな弟くんや大きくなるお腹を抱えてフーフー言いながらよく耐えて下さいました。本選優秀賞おめでとう！次の課題は楽しく弾く事だね！

沼田若菜ちゃん（小3）も2回目の参加。昨年のA1級と違って今年はB級です。初めは選曲も弾きやすい方の曲にしようと考えていたのですが、途中で、やはり難しい曲に挑戦して今年はしっかりと力を蓄えようということになりました。まず、曲目変更したソナチネが弾けてくるか心配したのですが、有永音羽ちゃん、片山紬ちゃん（村木裕子先生門下）と合同レッスンをしながら、曲を自分のものにしていきました。しかし、検定でも予選でも波があり、副賞を頂くほどに素晴らしい演奏をしたかと思えば、「どうしたの!？」という結果のこともありましたが、コンペは何度も申しますが、人との闘いではなく自分自身との闘いです。それは、本番で緊張の中、いい演奏ができるかということだけでなく、暑い中、毎日、地道に緻密な練習がこなしていけるかということも含めてです。持久力、探究心、今後の課題もしっかり見えたコンペでした。本選優秀賞、おめでとう！



沼田若菜ちゃん



有永音羽ちゃん

有永音羽ちゃん（小4）5回目のコンペ。まずは念願のグランドピアノがおうちに来ました！欲しくて欲しくてたまらなかったグランドを予算より少しでもいいものを買って下さいました。一昨年、A1級の全国決勝大会で本当にいい演奏をしたと思ったのですが賞を頂けず、祝賀会で泣いていた彼女に「音ちゃんが悪いんじゃない。先生が悪い！また一から一緒に勉強するから今は泣くな！人に気を遣わせるな！」と彼女に囁いてから、私も背負うものが出来ました。今回の課題は「説得力」「推進力」「音の粒」。初めから全速力で頑張る音ちゃんとママ。ママは、ベルサイユ宮殿には連れて行ってあげられないけど、と迎賓館に音ちゃんを連れて行き、お城のイメージを膨らませ、チェンバロ体験もさせて、バロック時代の音を感じさせて下さいました。また、音ちゃんは、本選の週まで、コンペ曲とともに教材を弾きこなし、基礎固めをしました。推進力のある演奏をしようと思いついて焦ってみたり、粒立ちのいい音を出そうとしてキンキン硬い音を出したり、しかし、それも音ちゃんが目指しているものがあることを物語っていました。なんとか、磨きをかけて最高の演奏が出来るように。全国決勝の送り出しレッスンで、最後にかけた言葉は「輪郭はしっかり！頑張って頑張るな！」そして、沢山の応援団の中、音ちゃんの真骨頂ともいべき伸びのある音色で生き生きと演奏しました。

全国決勝大会 銀賞 本当におめでとう！！

稲垣光希くん（中2）は私立の中学に通っています。小学校3年生の時からずっとコンペを受けて来て、コンペによって頑張る力を身につけた代表選手だと思います。昨年は中学生になったこともあり、検定だけを受けたのですが、それが予選通過レベルを上回っていたこともあり、今年はどうしても4曲弾いてコンペに挑戦したいと言いました。2年生になって学校のこともわかり、練習時間の確保など、なんらかの方策が立てられるのだらうと思ひ込みました。それが、、



稲垣光希くん

学校の帰宅時間は毎日20:30頃になり、宿題も多い。土日でも学校のことが多い。夏休みもほとんどない。「!!」これでどうやって4曲を仕上げるのか。。途方に暮れて、まず、予選通過出来なくては話にならないので、私は予選曲のみを見ることにしました。しかし、草臥れ果てている光希くんはレッスンにも身が入らない。楽曲に書いてある記号も調べてこない。。「帰れ!!」私が爆発しました。彼がどうしたいのか、私にも見えなくなったのです。しかし、それから話し合い、目標を確認して、再び歩き出しました。予選、彼は緊張の度合いが強いタイプなので、私も付き添いました。D級ともなると参加者みな、素晴らしい演奏をします。これには私も震えあがりました。しかし、2回目の予選で通過!、、となると、本選曲のレッスンをしていません💦2週間で本選曲を磨き上げました。光希くんのいいところが出始めると、返す返すも本選曲のレッスンをするゆとりがなかったことが悔やまれました。本選入選、おめでとう！



北川愛梨ちゃん

北川愛梨ちゃん（小6）3回目の参加。毎年、全国決勝大会進出の次点までこぎつけていたので、今年はそこを打破したいと思っていました。ところが、ソナチネに大苦戦。私はコンペのレッスンで、私流の弾き方を押し付けるのではなく、子ども達自身に考えさせる部分も必ず残すようにしています。ロボットを作って受賞しても、この子たちの今後に繋がらないからです。本選曲の解釈だけで手間取り、予選曲のレッスンが出来ない状況。また、検定に行く毎に、初めは不調。どうしたものかと頭を抱えました。とにかく予選を通過しないといけないので、予選曲のレッスンに集中しましたが、予選直前の検定でも通過ラインに届いていませんでした。これを短期間でどう磨いて行くか、苦しい日々でした。頭では理解出来ていることが音として表現出来ない。さすがに焦りましたが、段々、曲の解釈も深まり、本来持っている美しい音で奏でることができるようになりました。本選1つ目は奨励賞。

これで終わらせるわけにはいきません。次の本選まで、私の耳に穴が空くのでは？と思うほどに耳を澄まし、音作りをしました。そして、2回目は優秀賞。副賞が付いてきて、全国の次点でした。惜しい！！地団駄を踏む思いでしたが、毎年、ここまでは来れることはわかりました。今後はもっと譜読みを含むソルフェの力をつけて、基礎力をアップしていきたいものですね！よく頑張りました。おめでとう！

石川国際ピアノコンクール 優良賞



石川国際ピアノコンクールは、まず、録音審査を通過しなければ予選を受けられません。石井美有ちゃん（小6）は録音審査を経て、8月10日の予選に参加。これを通過して12日の本選に進みました。美有ちゃんには、春のハンガリーのマスタークラスの時に付いて行ってあげたいと思いながら、昨年末の体調不良で断念。今回は本選の日に駆けつけることにしました。（予選を通過してなかったら、と思う

と😞）しかし、私の飛行機が遅れ、予定していたリムジンには乗れず、特急列車も遅れ、私が着いた時には小学校の部最後の演奏者になっていました（苦笑）つくづく縁がないようです。本選では、美有ちゃんは演奏前に、曲についての1分間スピーチをしてからの演奏をします。原稿を読む人が多い中で、うちの発表会の初め、終わりの言葉などで鍛えられている美有ちゃんは、暗記で堂々とスピーチをしたそうです。聞けなくて残念！仕方がないので、美有ちゃんと空き時間に金沢観光をして、東茶屋街で金箔ソフトクリームを食べました。そして、今回、美有ちゃんは優良賞を頂きました。おめでとう！演奏曲目が一番難しかったかと思いますが、どういう曲で参加しようとコンクールとなると完成度を求められます。詰めが甘いところがあったことも反省し、今後、美有ちゃんがもっと羽ばたけるように、技術も磨いていきたいと思います！

ちば音楽コンクール

坂本百合彩ちゃん（小3）ちば音楽コンクールに参加しています。一次予選、二次予選と通過して、9月18日（祝：月）の本選会に参加します。特に、ちば音楽コンクールの課題曲は、ツェルニー30番やバッハなどで、テクニックがしっかり備わっていないといけません。百合彩ちゃんはタッチがしっかりしている方ではなかったのですが、まず、粒立ちのいい音が出るようにリズム練習も沢山こなしたようです。次に、右手中心で弾かないこと。音楽を立体的に仕上げていくためには、右手左手のバランスを常に考えていなければいけません。これも大いに勉強になりました。ちばコンの発表はちば日報の新聞紙上です。うちの周辺の配達は午前2:30頃。それまで少しでも眠っておこうと思いながら、人間、そんなに思うようにはなりません。ところが、配達を待たずに新聞を購入して下さった坂本家から1:00頃に「通りました！」真夜中に「やった～!!」と大騒ぎでした😄本選会までまだまだ続きます。頑張って！！



6月22日（木）に娘あかりが元気な男の子を出産致しました。予定日より半月ほど早い出産でしたが3246gでした。流山ステップの最中に生まれたらおばあちゃんに叱られるとでも思ったのでしょうか。それも、私はステップ前でレッスンが詰まっていた面会時間には病院に行けないことはわかっていたのですが、21時44分に生まれてくれて、出産後の2時間の特別面会で生まれたての孫っちに会うことが出来ました。ご心配下さったみなさま、お祝いのお言葉やお気持ちを下さったみなさま、有難うございました！「要」（かなめ）と命名し、お陰様で健やかに育っております。アンサンブルの時に、みなさまに初お目見えする予定であります！新米パパママの海老原恭平、あかり共々、どうぞよろしくお願い致します！

ステップ合格 おめでとう！！

流山ステップ 6/25

村岡 詩月 (プレ導入)	川口 心愛 (導入3)	石井 那月 (導入3)	京藤希恵瑠 (基礎1)
長谷川朋洋 (基礎2)	松永 啓佑 (基礎3)	鈴木日向子 (基礎3)	佐々木優香 (基礎4)
増田 結 (基礎5)	石井 夏月 (応用1)	大村 響 (応用2)	川口 夢月 (応用3)
上田 結鈴 (応用3)	有賀 文音 (応用3)	服部 葵 (応用4)	神保和花乃 (応用6)
影山 裕奈 (応用6)	新田 彩桜 (応用6)	大村 栞 (応用7)	梅 昌大 (発展1)
寺田絵梨花 (展開2)	大賀 智水 (フリー3)	阿部麻菜美 (フリー5)	沼田 若菜 (フリー5)
有永 音羽 (フリー7)	北川 愛梨 (フリー7)	稲垣 朱音 (フリー7)	坂本百合彩 (フリー7)
小松菜津美 (フリー7)	石井 美有 (フリー10)	沼田 遥菜 (フリー10)	稲垣 光希 (フリー7)

大泉学園ステップ 7/31

沼田 若菜 (フリー5)	有永 音羽 (フリー5)
--------------	--------------

継続表彰
おめでとう！

継続5回表彰

長谷川朋洋
松永 啓佑
小松菜津美

継続10回表彰

阿部麻菜美
大賀 智水
沼田 若菜

継続25回表彰

沼田 遥菜

敬称略

編集後記

流山ステップ前夜には右写真の方々が駆けつけて下さいました。

(有永音羽ちゃんとママ、石井美有ママ、上田萌莉ママ、北川愛梨ママ、佐々木優香ママ、坂本百合彩ママ) ステップ当日も、最後まで残って下さった方々がお手伝い下さり、スタッフも驚くほどの凄い速さで片付けて下さいました。有難うございました！

また、去る6月初めのバイオリンの桜田悟さんのお母様(新関愛子さんの娘さん) 桜田幸子さんご逝去の折には、お通夜、告別式とご参列下さったみなさま、有難うございました。

(有永音羽ちゃんとママ、稲垣朱音、稲垣光希さんとパパママ、上田結鈴ちゃんとママ、影山裕奈ちゃんママ、北川愛梨ちゃんとママ、沼田遥菜、沼田若菜ちゃんとママ、神保和花乃ちゃんママ、新田彩桜ちゃんとママ、服部葵ちゃんとママ、三輪駿介さんとママ)

まだまだお若いのに、と胸が痛みます。

みなさまと一緒に合掌したいと思います。



流山地区ステップ

6月25日(日)に流山市生涯学習センター多目的ホールにてピティナ流山地区ステップが開催されました。教室からは、初参加の村岡詩月、川口心愛、京藤希恵瑠さんを含む32名が参加しました。村岡詩月ちゃんはプレ導入のステージ。(上写真左端) パパと連弾をしました。パパ共々緊張した可愛らしいステージでした。(パパ ゴメンナサイ！)

今回は参加者として、昨年のアドバイザーの日下部満三先生がお越しになり、自作曲「Dear Johannes」とモーツァルトのソナタを第3部のラストで演奏されました。その演奏を目指してホールに来られたお客様もありました。

上野優子先生のトークコンサートでは、まず、ホールのピアノであるブリュートナーについてお話し下さいました。通常は1音について3弦張っているがブリュートナーは4弦であること。その多い弦は響きを足す為にあることなど。参加者は自分たちの弾いたピアノのことをよく理解できました。優子先生の演奏は時に激しく、時にしっとり歌わせて、会場の聴衆は聴き入りました。

今回の流山ステップには、素晴らしいアドバイザーの先生方、他研修としてして3名の先生方、本部からも指導員として、流山ステップ初回のアドバイザー、林苑子先生や本部事務局の方々がお越しになり、賑やかなステップになりました。

羽ばたく子ども達

服部葵ちゃん(中2)はこの夏、ホームステイする現地体験で4週間、アメリカのケンタッキー州に行きました。そこからお手紙をくれて感激しました。古里彩乃ちゃん(大3)もアルバイト代を貯めて、カナダのトロントに1ヶ月ほど私費留学しました。昨年は、稲垣朱音ちゃんも学校からの研修旅行でニュージーランドに。光希君も来年は行くそうです。寺田絵梨花ちゃん(大1)も高1でオーストラリア、高3でサンディエゴに、どちらも英語力の向上を目指して行きました。また、絵梨花ちゃんは今年8/5にNHK「思い出のメロディ」という番組にバックコーラスで出演しました。石井美有ちゃんは8/26に田代ピアノ教室で職場体験をしました(笑) 子ども達が羽ばたいていますね♡